



よこはま支部だより

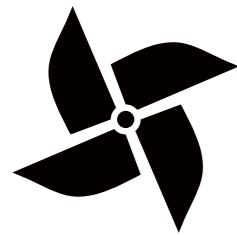
第70号
2019年冬



一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部
THE YOKOHAMA BRANCH KANAGAWA PREFECTURE
SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

P1:表紙	P5:「人生フルーツ」上映会	P9:絵画同好会便り(デッサン)
P2:新年のご挨拶(支部長) (賛助会会長)	P6:「かながわ建築士の集い」	P10:テニス同好会便り
P3:納涼会(屋形船)	P7:ワイン同好会便り	P11:横浜市建築局からのお知らせ
P4:日帰りバス研修旅行	P8:絵画同好会便り(スケッチ)	P12:賛助会紹介・賀詞交換会 ・編集後記





年頭挨拶

(一社)神奈川県建築士会横浜支部 支部長 渡邊 一郎

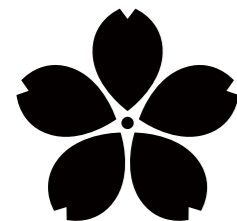
新年、明けましておめでとうございます。皆様にとって良い年になることを祈念申し上げます。

昨年は支部創立25周年を迎え様々な記念行事を開催し皆様におかれましてはご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。総会、研修会、講習会、会員交流会、懇親会、そして初めての試みの上映会と支部会員のエネルギーな企画力、行動力には脱帽する次第です。

さて昨年は免振・制振装置データ偽装問題で建築物に対する社会の厳しい目が向けられました。建築士として襟を正し、業務に打ち込むことが重要と考えております。

皆様には若い、新しい建築士を育てる面でも協力を頂いております。猛暑の折、受験者は減少しておりとはいえ、一級、二級、木造建築士試験学科、設計製図試験の監督官業務は大変ハードであります。早朝から夜まで緊張感を伴う業務の重要さは、後に資格を取得した者にとって、ありがたさが伝わる事でしょう。会員の減少問題は歯止めがかかっているとはいえ、予断を許しません、新しい仲間を増やし支部活動充実を図りたいものです。

本年も支部会員の皆様のお力を借り、本会、本支部が発展することを祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭挨拶

(一社)神奈川県建築士会横浜支部 賛助会会長 星 雅巳

新年明けましておめでとうございます。

平素は、賛助会会員に特別なお配慮を賜り誠にありがとうございます。

本年は、ラグビーワールドカップ開催年、東京五輪開催前年ではございますが、消費税値上げ、原油高、外国人労働者受け入れ等に加え、前年からデータ偽装問題等建設業界とりましては、直面する問題が山積しております。本年もまた難しい一年になりそうです。

当会の講習会、懇親会等に参加させて頂いておりますが、毎年若い会員の方々が増え、活気を感じておりますし、是非若い力で会を牽引して頂き、活性化につなげて頂きたいと痛感しております。

本年も、(一社)神奈川県建築士会横浜支部の増々のご発展を記念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

貸し切り屋形船『納涼会』



松本 新吾

8月24日に横浜支部25周年記念行事となる屋形船納涼会が開催されました。

これまで個人的に屋形船に乗るチャンスがなかったわけではないけれど、結局乗れずじまいだったこともあり、神奈川県建築士会のイベントで何度かお世話になった大先輩から今回誘っていただいた時、ついに屋形船に乗れるのだと期待を膨らませていました。

支部長のびっくりするほど元気な挨拶で納涼会がスタートし、一気に会場全体が賑わいました。まだあまり建築士会の活動に参加できていないため、初めてお目にかかる人たちがばかりでしたが、名刺を交換しながら色々なお話をさせてもらえたので、楽しく過ごせました。

屋形船は、掘りごたつ式屋形船「うら嶋」で、横浜唯一の開閉式の天窗により、座ったままでも夜景を十分に楽しむことができます。船上では、横浜老舗の岩井の胡麻油で揚げたてサクサクの天ぷらを始め、美味しい食べ物が提供され、一足早い秋のビールと一緒に美味しくいただきました。料理を楽しんでいる間の船は、ほぼ静かに停止している状態のため、心配していた船酔いになることもありません。



食事を楽しんだ後は、約1時間ほど横浜港のクルージングです。屋形船が動き出すと、窓の景色が変わり始めました。

この頃になると、参加者は思い思いの場所で楽しんでいて、デッキに出て、横浜港からライトアップされたシーサイドを眺めながら、涼しい夜風に当たっている人も多くいました。レインボーブリッジ下を通過する際は、船の中でも案内があり、天窗からも、ライトアップされた迫力有る橋脚を眺めることが出来ました。

今回は、42名の参加者が楽しんだ納涼会となりました。初参加の私でも、参加しやすく色々な方と会話をさせてもらうことができとても有意義でした。





日帰りバス研修旅行『雨が降りそうな空の下』

雨が降りそうな空の下、西の方は雨が降らないという天気予報を信じて、まずは江之浦測候所へ向かう。

江之浦測候所は、昨年10月にオープンしたばかりで何となくテレビで放映されていたのを記憶していたので、非常に楽しみにしていた。まず現地につき明月門の前で概略の説明を受けた。この測候所は雰囲気壊さない配慮からか予約制をとっている、それに配慮してなのか二班に分かれ造営に参与した磯崎氏・本田氏に苦労話・裏話等交えて解説していただきながら見学した。

100mのギャラリー棟は夏至の時に日が差し込むように配置されており、壁は、片面は大谷石、また反対側は総ガラスでできていて、開放感に満ちていた。先端の壮大な12mのキャンチレバーのデッキの景色はすがすがしい。内部の展示物はこの測候所の構想者の杉本氏のモノトーンの様々な表情の異なる水平線の作品が大型にプリントされて展示されていた。きっとこの人は水平線が好きなのだと思った。この場所に測候所を造ったのも冬至の時に水平線から日が昇るのが見えるからだとのこと。その冬至の軸線に沿ってスライド工法で造られた冬至光遙拝隧道は冬至の際に日が差し込んだ様はさぞ荘厳であろうと思われる。屋外は現地で出土した根府川石などを多く使い、展示物は古いものと新しい技術が融合されており、茶庭の留め石の作法で立ち入り禁止を表意するなど、壮大なランドスケープを感じた。

時間の経つのは早いもので、昼食の時間となり、近くの江之浦れんが屋で昼食をいただいた。横浜支部の日帰りバス旅行の昼食は知る人ぞ知る楽しみの一つである。今回もよくこのような何も無い場所で満足する料



横浜支部 村松 秀明

理をだす店を見つけてきたなと感心してしまった。(私の記憶の五指の中にはちょっと及ばなかったが)

昼食も終わり、三島スカイウォークを窓越しに眺めながら、沼津芹沢光治良記念館に向かう。芹沢光治良はこの地に漁師の子として生まれ、フランスに留学した有名な作家だそうである。設計は菊竹清訓で西洋の教会をモチーフとして設計したそうである。波をイメージした段差の違うアプローチの階段、ホールの松葉をイメージした打ち放しコンクリートの天井、階段室の外壁の十字型のガラススリット。そして屋上からの眺望は芹沢光治良を形に表そうとした建築ではないかと思われた。

そして、昨年12月にオープンしたばかりの富士山世界遺産センターに到着し、逆さ富士をイメージする県材産のひのきの木格子を材工で請け負った(株)シェルターの方に解説していただき、横浜支部恒例化しつつある閉館30分前に無事入館をすることができた。内部は螺旋状のスロープになっており富士山の登山をイメージして造られているとのことである。登りは標高・季節の変化を映像で紹介しており、登り切ったテラスに出ると雄大な富士山が目の前に広がる景色はなんともいえない。下りは富士山の歴史・信仰に関する資料が展示してあり、富士山登山を疑似体験することで富士山の概要を紹介しているのではないかと思われた。

そして、最後に富士山登山口の入り口に当たり浅間信仰の中心地でもある富士山浅間大社に参詣し、雨に降られることもなく無事に帰路についた。「場所・人・建築」の融合について考えさせられる有意義な日帰り研修バス旅行であった。



横浜美術館 レクチャーホールにて、横浜支部創立25周年事業として、標記の上映会が開催されました。ご夫婦や女性の参加が多くあり、また、美術館のホールと言う事もあり、いつもと違う穏やかな雰囲気の中での上映会となりました。70名もの参加があり、好評なうちに終了しました。



『人生フルーツ』上映会に参加して

川崎支部 成田 昭一

風が吹けば、枯れ葉が落ちる。
枯れ葉が落ちれば、土が肥える。
土が肥えれば、果実が実る。
コツコツ、ゆっくり……。

ナレーション通りの情景が続く。風のシーン、雨のシーン……。

愛知県春日井市高蔵寺ニュータウンの一隅に、雑木林に囲まれた一軒の平屋住宅がある。母屋は30帖のワンルーム。小屋裏現しで、天井はない。間仕切りのほとんどない造りで、外壁は横羽目。住んでいるのは、一級建築士津端修一とその妻。津端の敬愛する建築家レーモンドの自邸に倣って建てたものであるという。

伊勢湾台風(1959年)の翌年、名古屋郊外にニュータウン計画がもちあがり、当時36歳の日本住宅公団のエース津端が、設計を任される。

1970年、津端は自ら手がけたこの高蔵寺ニュータウンの集合住宅に入居、5年後、敷地内に300坪の土地を買って、家を建て、雑木林を育て始め、以来自給自足暮らしを3歳若い妻と50年続けている。

この、設計者夫妻の生き方、暮らしを2年間追いつけたドキュメンタリーである。

津端が90歳の時に新たな仕事が舞い込む。佐賀県伊万里市の精神科病院。津端は、「人生最後に良い仕事に巡り会った」と、設計料など一切辞退して仕事を引き受け、その2ヶ月後に具体化した設計を関係者が見せに来た時には、彼は既にこの世を去っていた。畑の草むしりをした後の昼寝、そのまま目が覚めなかったという大往生である。私もこのような人生の終わり方をしたいものである。

ちなみにナレーションは樹木希林である。



第16回活動交流会『かながわ建築士の集い』

参加人数
169名

平成30年11月24日(土)川崎市中原区武蔵小杉駅前のユニオンビルに於いて『第16回活動交流会 かながわ建築士の集い』が開催されました。

第1部 交流会では川崎市活動報告、支部・委員会活動報告会、建築甲子園作品発表会

第2部 講演会では桜設計集団一級建築士事務所 代表、NPO法人 team Timberize 副理事長 安井 昇 様に講師としてお迎えして『改正建築基準法の概要と木造建築の可能性』と題してご講演頂きました。

第3部 懇親会では洗足学園音楽大学 Pan Quintetの演奏を聴きながら、支部の垣根を越えた交流会が行われました。

川崎支部及び関係団体の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



ワイン同好会便り

ワイン概略【4】

～ブルゴーニュ編～

ワイン同好会 藤井 利時

ピノワール種からなるブルゴーニュの赤は透き通るような赤で主としてカベルネ・ソーヴィニヨンやメルロからなるボルドーの様な濃い赤とは違うので一見して分かります。黄金の丘と云われるコート・ドール地区の北部のコート・ド・ニュイ(赤が中心)と南部のコート・ド・ボージュ(白が中心、赤も有ります)地域から成っています。

前者で有名なのがジュヴレイ・シャンベルタン村です。ここでの代表はナポレオンが樽ごと戦場に持ち込んだと云われているシャンベルタンです。それとシャルムシャンベルタン、クロ・ド・ベーズで共にグラン・クリューです。これ等の下にあるのがジュヴレイ・シャンベルタンですがピンからキリ迄有ります。

最も値段が高いのがヴォーヌ・ロマネ村のロマネ・コンティでラターシュ、エシエゾーも有ります。いずれも、香り、味共に優れていますがボルドーのグラン・クリューに比べて値段が合っているとは思いません。

後者ではピュリニー・モンラッシェ村の辛口白ワインの王であるモンラッシェを始めシュヴァリエ・モンラッシェ、バタール・モンラッシェ等のグラン・ク

リューが有ります。ルイ・ラトゥール社のモンラッシェはデュマの「脱帽し、ひざまずいて飲むべし」との言い伝えが有ります。ここで公爵のパーティーが有ると隣地のみならず遠方の公候爵迄も続々と出席しモンラッシェ殿下と云われていたそうです。シャサーニュ・モンラッシェ村でも、クリオ、バタール・モンラッシェが有り、白、赤、同量産しています。アロース・コルトン村にもコルトン(赤)とコルトン・シャルマーニュ(白)が有りますが白の方が上です。日本で有名なのがシャブリですが、モンラッシェにはかないません。

次号(最終回)に続く

インターコンチネンタルホテル内「ラ ヴェラ」にて





絵画同好会便り



『スケッチ会』

2018年6月2日

北浦和公園内の黒川紀章設計「埼玉県立近代美術館」にてモネ、シャガール、ピカソ、藤田嗣治の作品を鑑賞、北浦和公園で、フェルナンド・ボテロやエミリオ・グレコや黒川紀章のオブジェ(全部で21体)、渋沢栄一が命名した「恭慶館」の日本庭園や茶室や池、そして音楽噴水を眺めながら、初夏の一日のスケッチ会でした。



埼玉県立近代美術館
ファサード通路オブジェ
フェルナンド・ボテロ作「横たわる人物」の前にて



▲塩原会員の作品



▲田中会員の作品



▲芹澤会員の作品



▲菊地会員の作品



▲高橋会員の作品



『デッサン会』

2018年11月11日 参加者5名

かながわ労働プラザにて、裸婦デッサン会を開催



▲デッサン風景(手前にモデルが立っています)



▲芹澤ひと美会員の作品



▲高橋伸廣会員の作品



▲田中克樹会員の作品



▲塩原清晃会員の作品



▲菊地紀代子会員の作品



テニス同好会便り



定例会報告 場所:金沢産業振興センターテニスコート

4月14日(土) 参加者6名
桜も葉桜となり、新緑が美しい季節となりました。あいにくの小雨がパラつく天候でしたが、何とか2時間はゲームをすることが出来ました。

4月28日(土) 参加者10名

ゴールデンウィークも始まり、とても良い天気での定例会でした。1面4時間でしたが、久しぶりの参加者もあり大変盛り上がりしました。二次会のビールは最高でした。

5月12日(土) 参加者10名

少し雲がりましたがとても暑い天気となりました。殆ど休み無しでゲームを楽しみあつという間の定例会でした。

5月26日(土) 参加者5名

今回は、2面取れていましたが、皆さん都合が悪かったようで少なかったです

6月9日(土) 参加者9名

今回の定例会は、前半2面、後半1面でしたが、何とかダブルスのゲームができました。気温が30度超えの真夏日でしたので、皆さんバテバテでしたが最後まで頑張ってプレーを楽しみました。



5月12日

7月14日(土) 参加者9名

連日、真夏日が続いていて、夕方でも猛暑でした。コートが2面でしたので、休み無しでしたが、皆さんいつも以上に水分補給をしながら、プレーを楽しんでいました。

8月11日(土) 参加者7名

炎天下の中、熱中症に気を付けながら、楽しくプレーをしました

8月25日(土) 参加者10名

まだまだ、暑さが厳しい中の定例会でしたが、暑気払いが控えていたので、暑さにもめげず、皆さん頑張っていました。暑気払いもとても盛り上がりしました。

9月8日(土) 参加者8名

残暑が続いていますが、体調に気を付けて楽しくプレーをしていました。

9月22日(土) 参加者10名

テニスをするのにはちょうど良い気候となりました。今回は4時間2面でしたが、皆さんたっぷりテニスと楽しみました。



7月14日

10月6日(土) 参加者8名

10月としてはとても気温が高くとても暑い日でした。今回は2時間でしたが、コート2面でたっぷりゲームを楽しみました。

10月27日(土) 参加者9名

とても気持ちのいいテニス日和の気候でした。4時間たっぷりゲームを楽しみました。

11月10日(土) 参加者7名

今回もテニス日和となり、一面4時間でしたが、ゲームはとても盛り上がりしました。



8月25日暑気払い



8月25日

テニス同好会 会員募集中

テニスに関心のある方などでも参加可能です。特に女性大歓迎!お気軽に連絡ください。定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますのでお問い合わせください。ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。連絡先:玉野 TEL:045-894-8452 FAX:045-893-6614 n.tamano@architect-tamano.jp

横浜市 建築局からのお知らせ

防火戸ピクトグラムを活用した防火区画の重要性周知

防火戸は、火災時に火や煙の伝播を遮断し、延焼の防止や避難経路を確保する役割があり、命や財産を守る非常に重要な設備です。

防火戸の正しい使用方法や維持管理の重要性を周知するため、横浜市では防火戸ピクトグラムのステッカーを作成し、市内施設へ無料配付しています。是非ご活用ください!

1 防火戸の重要性

写真は、実火災において防火戸が有効に機能した事例です。防火戸の反対側はほぼ被害を受けていないことがわかります。火災時、特に縦穴区画の防火戸が適切に使用されていないと、階段から急激に各階に煙が流れ込み、火の廻りが早くなります。最も有効な避難経路である階段に有毒な煙が充満すると、避難できなくなり非常に危険です。



(写真提供:東京消防庁)

防火戸の役割

2 現状と課題

横浜市では、**建築基準法違反の約2割**に防火区画違反が含まれているのが現状です。防火戸の重要性を知らない人もまだまだ多く、大きな被害を未然に防ぐためには、建物管理者・所有者・さらに利用者である市民等に対し、防火戸の正しい使用方法や重要性を周知する必要があります。

3 よくある違反事例

機能不良・不適切な維持管理 ❌

- ドアクローザー不良で自動で閉まらない
- ドアストッパーやロープ等で開放固定している
- 縦穴区画に新規に温度ヒューズ付のドアクローザーを使用

テナント変更に伴う違反 ❌

- ビルを飲食店等に内装改修した際、階段の縦穴区画を撤去した

4 建築士の方へのお願い

平成29年度から、一定の用途・規模等の建築物に設置された防火戸・防火シャッター等について、**定期報告が義務付け**られました。定期報告の際には、防火戸が適切に設置・維持管理されているか十分にご確認いただき、適切な状態を維持するように建物管理者へお伝えください。

5 防火戸ピクトグラムのステッカー作成と活用をお願い

横浜市では、防火戸に直接貼るステッカーを作成し、市庁舎やJNビル等で既に運用しています。

正しい使用方法や重要性を周知するために是非ご活用ください。**横浜市内の施設に無料配付**していますので、ステッカーを希望する施設がありましたら、下記をご案内ください。



防火戸ピクトグラムのステッカー

お問合せ先

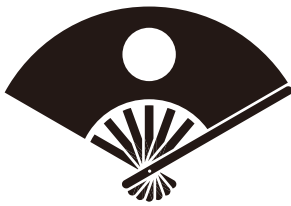
横浜市 建築局 違反対策課 (☎045-671-3856)

賛助会員のご紹介

株式会社 星
株式会社 渡辺組
株式会社 カンディハウス横浜
東京ガス 株式会社

不二物産 株式会社
株式会社 ヒライデ
横浜エレベータ 株式会社
株式会社 キクシマ

平成31年 賀詞交歓会のご案内



JR京浜東北線根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町駅」下車 徒歩10分
みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩3分



日 時：平成31年1月25日(金) 18:00より

会 場：ナビオス横浜 CANAL カナル
横浜市中区新港二丁目1-1

☎045-633-6000

会 費：正会員・準会員(個人負担) 4,000円
賛助会員・特別会員 5,000円

※当日会場にてお支払ください

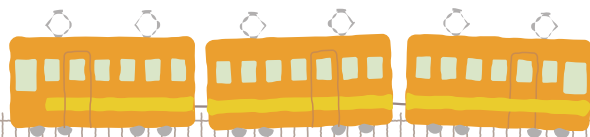
お問い合わせ・お申込み先

(一社)神奈川県建築士会 事務局

TEL:045-201-1284 FAX:045-201-0784

E-MAIL:info@kanagawa-kentokusikai.com

申込み締切:平成31年1月18日(金)まで



【編集後記】

昨年は、地震や台風など自然災害が多かったように思いますが、10月に発覚した免震・制振オイルダンパーの試験データ改ざんは、非常に残念な事件でした。ダンパーの性質上、耐震性への影響は限定的という評価もあり、その点では冷静に対応すべきです。しかし、影響が少ないから良いという問題ではなく「建築への信頼を裏切る行為」であり、許されません。私達も、これを他山の石として、気を引き締めないといけません。(畠 宏好)

【広報委員】

白井崇雄・落合 博・玉野直美・丸山幸一
雨森隆子・畠 宏好・太田真理子・遠堀太陽
松本新吾

【発行】

一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局
〒231-0011 横浜市中区太田町2-22
神奈川県建設会館 5階

Phone:045-201-1284

Fax.:045-201-0784

http://www.kanagawa-kentikusikai.com/
sibu/yokohama/